

2019年9月17日

各位

会社名 丸三証券株式会社
 代表者名 代表取締役社長 菊地 稔
 (コード番号 8613 東証第1部)
 問合せ先 企画部長 吉岡 一哉
 TEL 03-3238-2301

2020年3月期中間配当並びに特別配当の予定について

当社は、2019年9月17日開催の取締役会において、以下の通り、2019年9月30日を基準日とする剰余金の配当(2020年3月期中間配当)を行うことについて決議しましたので、お知らせ致します。

尚、既に公表しております通り、当社は2020年3月期期末配当まで、普通配当に加え、特別配当を実施する予定です。この特別配当は、中間配当・期末配当の時期に等分して実施する方針です。

1. 2020年3月期中間配当の内容

	決定額 (2020年3月期 中間配当)	前期実績 (2019年3月期 中間配当)
基準日	2019年9月30日	2018年9月30日
1株当たりの配当金額	普通配当 3円00銭	普通配当 3円00銭
	特別配当 5円00銭(公表済)	特別配当 10円00銭
	合計 8円00銭	合計 13円00銭
配当金の総額	540百万円	864百万円
効力発生日	2019年12月1日	2018年12月1日
配当原資	利益剰余金	利益剰余金

(注) 当中間期の配当金の総額は確定していませんので、1株当たり配当金に本日現在の発行済株式総数(67,398,262株)を乗じて、上限額を記載しております。

2. 2020年3月期(2019年4月1日~2020年3月31日)年間配当の予定

(1株当たり)

	中間配当		期末配当		年間計	
2020年 3月期	普通配当	3円00銭(予定)	普通配当	未定	普通配当	未定
	特別配当	5円00銭(予定)	特別配当	5円00銭(予定)	特別配当	10円00銭(予定)
	合計	8円00銭(予定)	合計	未定	合計	未定
2019年 3月期 (ご参考)	普通配当	3円00銭(実績)	普通配当	2円00銭(実績)	普通配当	5円00銭(実績)
	特別配当	10円00銭(実績)	特別配当	10円00銭(実績)	特別配当	20円00銭(実績)
	合計	13円00銭(実績)	合計	12円00銭(実績)	合計	25円00銭(実績)

3. 当社の普通配当の方針について

当社の普通配当につきましては、内部留保を充実させることにより企業体質の強化を図りつつ、安定的な利益還元を行うことを基本方針としております。また、好況期には安定的なものを意識しつつも、毎期の業績変化をより反映したものとする所存であります。配当性向につきましては、連結当期純利益を基準に、連結配当性向 50%以上の配当を行う方針です。

4. 特別配当の実施予定について

当社は、既に公表しております通り、**2020年3月期期末配当まで、普通配当に加えて、以下の通り特別配当を実施する方針**です。この特別配当は、中間配当・期末配当の時期に等分して実施する方針です。

	1株当たり特別配当額		
	中間配当	期末配当	年間特別配当計
2018年3月期	15円00銭 (実施済)	15円00銭 (実施済)	30円00銭 (実施済)
2019年3月期	10円00銭 (実施済)	10円00銭 (実施済)	20円00銭 (実施済)
2020年3月期	5円00銭	5円00銭	10円00銭
2021年3月期	0円00銭	0円00銭	0円00銭

(注) 期末配当は、各期終了後に開催される定時株主総会での決議を条件と致します。

《特別配当実施の理由》

当社は、2014年3月期から連結配当性向を50%以上に引き上げ、株主の皆様への還元の方針を強化しております。また、2015年3月期から2017年3月期までの3年間にわたり、毎年1株当たり40円の期末特別配当を実施する方針とし、還元方針を一層強化してまいりました。この還元強化の方針を継続し、株主の皆様のご支援に感謝の意を表すため、当社は2018年3月期の配当以降も3期にわたり、普通配当に加える形で、上記特別配当を実施することとしております。

特別配当は、① 資産管理型営業へ舵を切ったことにより収益基盤が従来より安定化してきたこと、② 株式信用取引に係る融資残高の減少から、株価急落時の評価損に対する返済資金を多額に備えておく必要性が薄れたこと等から、これまで株主の皆様よりお預かりしていた内部留保を還元させていただき、資本効率を高めようとするものです。同時に、収益構造の一層の改善を図り、資本の効率化を進めてまいります。

以上